

Aブロック全作品と講評

色



ずっと一本道だったけど

この後はどう進もうか

どんな色になろうか

A-2 色

『色』は色色なものと混ざる

『音』と『色』が混ざると『音色』となって人々の心に響き渡る

『景』と『色』が混ざると『景色』となって人々の目に焼き付く

『顔』と『色』が混ざると『顔色』となって人々の体調を表す

そして、

『色』と『色』が混ざると『色色』なものが生まれる

人の心にはパレットが存在する

そのパレットの上は七色でカラフルに彩られている

怒・喜・思・憂・悲・驚・恐

たとえそれが怒りや悲しみ、嫌われる色であっても使
うのを躊躇してはいけない

パレットの上のどの色も乾いてはいないだろうか

使う準備はできているだろうか

さあ、あるがままの自分を表現してみよう！

『心のパレット』

今日もまた、袋から玉を取り出す。

玉の色を確認したら袋に戻し、同じ色の玉を入れる。

これを何回も繰り返す。

なぜ、こんなつまらない事をしなければならないのだろう。

第一、初めに袋の中に赤玉が2個、白玉が1個入っていることは知っているのだ。

ゆえに袋の中の玉の数はわかりきっている。

赤が出るか白が出るかを知って誰が得するだろうか。

赤が出てもお金もらえるわけではないし、この苦行が終わるわけではない。

それどころか、この操作ごとに目の前にいる高校生が喜んだり、

泣き崩れたりするのだ。見てもいられない。

こんな事でもう一年同じことを繰り返す運命になるのかが決まってしまうのか…。

まるで僕のように。

もう僕の前から去って、横にある立方体でも眺めてほしい。

…ああもうわけが分からなくなってきた。この玉が紅白饅頭だったらなあ。

真つ赤な町の
真つ赤な言葉

真つ赤な人の
真つ赤な瞳

こたえは見えない
すこしも見えない

わたしは見えない
どこにも見えない

今日もわたし

真つ赤な世界で
見えないこたえを
知らずにいきる

(赤シート)

今日の天気は雨だそうだ

ボクは傘を取り出し、街へ出る

すれ違う人々 道端に咲く花々

新築の家のおしゃれな屋根

皆 昔のフィルムカメラで撮ったかの如く白黒に見える

モノクロ

ボクはそんな事を考えながら

お洒落なカフェへ入っていく

「すみません。」

ボクは真っ赤な口紅の店員にホットコーヒーを注文した

「モノクロのココロ」

「あの日の色」

あの日の空は、青く澄み渡っていた。

真つ赤な太陽が容赦なく照り付ける中、泥だらけのユニホームで戦う選手たち。試合はもう終盤に入っていた。白熱した試合に、応援団も声をからして叫んでいる。

金属音が鳴り響き、白球が高々と舞い上がる。選手が必死で追いかけるも、ボールは無情にも緑の人工芝の上に落ちた。相手方のベンチがわっと盛り上がり、こちらの応援団からは悲鳴が上がる。ようやくボールに追いつき、連係プレーでボールが帰ってくる。キャッチャーがボールをつかんだ瞬間、相手選手が滑り込んできた。土煙が上がり、一瞬時が止まる。土煙が晴れると、審判が手を大きく横に広げていた。

「セーフ！」

再び向こうのベンチが沸き、こちらのキャッチャーはうなだれる。と、再び前を向き、笑顔で声をかける。ドンマイドンマイ、まだ一回ある、次逆転しようぜ。

九回裏、ツーアウト。追い込まれても、悲壮感はない。誰もが大声で叫んでいる。

カキン、と音が鳴って、ボールが相手選手の前をすり抜けてゆく。打った打者は悠々二塁に到達し、こちらに向かってガッツポーズをして見せた。まだ、僕たちは終わらない！。

不意に肩をたたかれて、そちらの方に顔を向ける。

「お前のために、絶対勝つから」

思ったより、上の方から声が降ってきた。僕はもう少し顔を上げて、エールを送った。

「ありがとう。頼んだよ」

彼がもう一度僕の肩をたたき、バッターボックスへ向かっていく。いや、向かっていく音がした。

あの日の一か月前、何かが目の前を横切ったと思ったら、次の瞬間には世界が真つ暗になっていた。それから一週間、二週間がたっても他の色が入ってくることはなかった。ボールも、チームメートの顔も、二度と見えることはなかった。

それでも、あの日は見えた。青い空が、緑の芝が、白球が。そして、チームメートが。どの顔も、黄金に輝いていた。

再び金属音が鳴り響き、白球が高々と舞い上がる。ぐんぐん飛んで行って、白球はフェンスの向こうに消えた。大歓声の中、彼がこぶしを高々と突き上げる。その情景が、鮮明に頭の中に浮かぶ。もう、真つ暗ではなかった。今までのどの瞬間よりも、鮮やかな色が見えた。

あの日の空は、青く澄み渡っていた。

あつく塗りたくられた白は
それでも美しいですか

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
A01	プリズム	26 pt	2 位	0 sp
		<p>まじょコメント</p> <p>「大学」という場の本質を、さくっと一行で言いあてた表紙作品と読みました。100点満点を目ざすのは高校生まででošimai。ゆたかな多様性の世界へようこそ。みんなの気持ちをいっぱい集めてシルバーメダルです、おめでとう!!</p>		
A02	色（色色）	9 pt	3 位	2 sp
		<p>音色に景色に顔色、と。 おー、うまいこと言った！とリズムのよい構成でした。レイアウト・フォント、そしてタイトルを工夫すると、さらにとコラムっぷりが上がりますので、おためください。 なにはともあれ幸先良くブロンズメダル獲得です。おめでとう！ 特別賞：色色工夫したで賞（最後の一文が上手い） バコシ賞（青や赤などの具体的な色を使ってないところが頑張ったなと思ったからバコシ……書記さんの名前らしい） イチオシフレーズ：「『色』と『色』が混ざると『色色』なものが生まれる」「人々の体調」</p>		
A03	心のパレット	5 pt	6 位	0 sp
		<p>パレットという小さな広がりの上に感情を乗せたたとえが、しっくり来ます。 ここから始まる新世界。絵を描くという能動的な行為で表現した前向きスタンスが好感度大でした。 イチオシフレーズ：「パレットの上のどの色も乾いてはいないだろうか」</p>		
A04	数学のA君のぼやき	27 pt	1 位	2 sp
		<p>かわいそうなA君は、数学の問題のなかで、ずっとずっとずうーっと確率と戦い続けているのです。合掌。 これは受験生に共感度大のネタの拾いかたですね。TAさんにも大ウケでした。 シュールに楽しませて紅白饅頭で落として。あざやかな構成で1点差の勝利。おめでとうゴールドメダル&イチオシフレーズ大賞!!! 特別賞：数学苦手な賞（数学が苦手な人の気持ちを代弁している。確率を求める意味って何!?) SYOGO from EXILE TRIBE賞（「横にある立方体でも眺めてほしい」という表現が気に入りました） イチオシフレーズ：「紅白饅頭」「この玉が紅白饅頭だったらなあ」×2「数学A君のぼやき」「まるで僕のように。」「こんなことでもう1年同じことを繰り返す運命になるのかが決まってしまうのか…。まるで僕のよ</p>		

		うに。」
A05	(赤シート)	4 pt 7 位 1 sp 「赤シート」が一般人に通じるか、コード的にはやや微妙ですが、それを現実世界にたとえて「こたえを知らない生き方」へと持って行った抽象力に脱帽でした。すごく実感伝わってきます。 特別賞：おしかったで賞（班内同率3位でぎりぎりアウトだったため）
A06	モノクロのココロ	4 pt 7 位 0 sp ぽんぽんぽんと単語だけ置かれた光景が、逆にCM的にくっきり映像として見えます。沈む心を持ち上げるようにカフェに入って。そこからドラマは始まる……のか？ イチオシフレーズ：「ボクは真っ赤な口紅の店員にホットコーヒーを注文した」「モノクロのココロ」
A07	あの日の色	9 pt 3 位 3 sp スポーツものの力作、入ります。見えないけれど見える光景。説明し過ぎない情報の出し方がほんとにじょうずで、なるほどそういうことなのかと行間を読みながらストーリーにはまりました。 欲を言えば、時制、あまりいじらないほうが読者さんにやさしかったのでは。 感動してもらえての価値あるブロンズメダルでした。おめでとう！ 特別賞：小説（ノーベル）賞（良い物語だから）青春で賞（目頭が熱くなるような感動的作品だから）せつないで賞（じーんときたから！） イチオシフレーズ：「あの日の空は青く澄み渡っていた」
A08	あつく塗りたくられた……	7 pt 5 位 7 sp 厚化粧、ですね、たぶん。あるいは花嫁さんの白塗りのお化粧か。 美しいって何だろうと余韻を響かせる今週の裏表紙は「けしょう」のおかげもあって特別賞の大量受賞。最多特別賞となりました。おめでとう!! 特別賞：おけ賞（お化粧について考えさせられた）一行賞（一行だから）あつけ賞（面白い名前を思いついたから）初回から楽しってきたで賞（タイトル通り、そしてよく掲載された）化賞（女性の化粧について議論が盛り上がったから。）厚化賞（厚化粧を皮肉ってるように思えたから）色色賞（色色な意味に読み取れるから。） イチオシフレーズ：「塗りたくられた」「あつく塗りたくられた白は、それでも美しいですか」×2

[Bの部]

コラム 番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
		14 pt	4 位	3 sp
		カラーの世界はモノクロの5倍の価値があるってことなのか？考え始めると価格の不思議にぶつかってしま		

B01	白黒10円カラー50円	<p>ユニークな表紙です。「魔法」のひとつが効いてますね。そうそう、数字はタテガキ仕様にして下さいな。やりかたが分からなかったらTAさんまで。</p> <p>特別賞：読みやすいで賞（読みやすかったから）面白かったで賞（発想が良い）斬新賞（斬新だから）</p>
B02	色についてきみに問う	<p>9 pt 5 位 1 sp</p> <p>改行なしの怒濤トーク。初回から重量級が出ましたね。とても読みにくいけれど、勢いにはまると持って行かれる。そんなプロ受けの芸風でした。</p> <p>特別賞：長い文章を良く書いたで賞（賞名どおり）</p> <p>イチオシフレーズ：「私のこの青臭い想いは、同じくあいまいなものなのだろうか。」「私のこの青臭い想い」</p>
B03	教科と色についての簡潔な報告	<p>22 pt 2 位 1 sp</p> <p>RGBの三要素で、たどてみたら……ムチャなたとえと思いつつ、細部まで凝ってて、楽しめます。社会の効率の悪さに笑いました。受験ネタ、やっぱり強いですね。シルバーメダルを攫いました。おめでとう!!</p> <p>特別賞：グッドデザイン賞（他とは違うユーモアある面白さ）</p> <p>イチオシフレーズ：「理系万歳。」</p>
B04	知らない色	<p>0 pt 7 位 0 sp</p> <p>絵画的な表現がくっきり輪郭をかたどって印象を刻みます。日常の光景を、名付けられない色というモチーフで切り取って新鮮。こまやかな観察眼に引き付けられました。ハイスクールの思い出、かな？</p>
B05	無職の眩き	<p>17 pt 3 位 2 sp</p> <p>ニートネタはけっこうあったけれど、これはそのなかのピカイチ。ホワイト・ブルーと、ちゃんと色にからめて、痛快に啖呵を切っていただきました。</p> <p>策士ですなあ。おめでとうブロンズメダル&イチオシフレーズ大賞!!!</p> <p>特別賞：はたらきま賞（選考段階で好評だったにもかかわらず、トップ3入賞を逃してしまったので）いい漢字で賞（無職と無色が同じ読み方でセンスを感じた。）</p> <p>イチオシフレーズ：「だから無色が一番いいんだ」×6 「無職の眩き」</p>
B06	人という色	<p>5 pt 6 位 3 sp</p> <p>いやいやいやいや。親にもらった体を傷つけたりしたらダメだからっ！</p> <p>さらっとブラック、ぐぐっと伝わってくるインパクト大のつぶやきです。実話じゃなくて良かったあ！</p> <p>特別賞：メンヘラ賞（病んでる感ある。丁度いい感じに短い）中二賞（佐藤君が中二病だったから）自賞行為（鮮烈な生々しさがあった）</p> <p>イチオシフレーズ：「真っ赤な血が僕の色を教えてくれた」×2</p>
		<p>0 pt 7 位 0 sp</p> <p>TAさんたちが「にゃんぱすう」と言ってたのは措いといで。</p> <p>絵を描くという行為に、自分自身が何を選擇するかとい</p>

B07	キャンパスの世界	<p>う行為を重ねて、しずかにストレートに決意が伝わってきます。レイアウトの工夫も◎。 ※「キャンパス」と「キャンバス」を間違ってる人がとても多かったけど、これは正しい用例。覚えてください。</p>		
B08	無題（作れますか）	23 pt	1 位	5 sp
		<p>深い読みをたたえた、さくっと刺さる1行メッセージ。作れますか？彼女に言われたら、ぐっと来そう。そして、初回から圧巻の壇上トーク。今後の彼から目が離せません。おめでとうゴールドメダル&最多特別賞!!! 特別賞：キャッチコピー賞（簡潔だけど深い）心にグッサリ賞（問いかけられてハッと気付かされ、心に感じられたため）ぐっときたで賞（社会諷刺のようなものを感じ、共感できる。心に響きました。）えがお（絵）賞（ちゃんと色をきめてすごせと思った。考えさせられた。）標語で賞（簡潔でわかりやすい！） イチオシフレーズ：「色に染まるのは簡単だけどあなたはその色作れますか」×2 「あなたはその色作れますか」</p>		